

競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区

[指定：平成24年7月、認定：平成30年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値 $(4.8+4.7)/2=4.8$

4.8

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	耕作放棄地面積	81%	4
2	農業従事者	104%	5
3	農業所得	104%	5
4	市人口社会増減数	802%	5
5	観光入込客数	116%	5
6	地域資源を活用する民間企業の誘致数	100%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 5 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 6 = 4.8$

4.8

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.7

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値 $(3.3+3.8+4.8)/3=4$

4.0

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.8

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.8

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.3

- ・南アルプス市らしいライフスタイルとは何か、そこでどのようなコミュニティが生まれているかを解明することが移住者の増加に寄与すると考える。
- ・今後のリニア中央新幹線及び高速道路網の整備の動向も踏まえて、取組が体系的に整理され、各取組がうまく連携して戦略的に進められている。
- ・ほとんどの目標について成果を上げており、十分に優れていると評価した。ただし、ほとんどは地域独自の支援であり、特区制度活用の影響は希薄と思われる。
- ・観光入込客数を始め、掲げた目標に対して、順調な取組が継続されている。
- ・6次化拠点による交流移住や人材育成の更に高度な取組に期待したい。
- ・保全管理地の維持について、AIなどを活用した省力及び省コストの持続的な取組の可能性についても期待したい。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.3

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.8+4+4.3 \times 2) \div 4=4.4$

4.4

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。